

なごや通信

第三十一号 平成二十四年三月
日本会議 名古屋支部 事務局
052-7663-4588

報告 日本の建国を祝う愛知県民の集い



日本会議愛知県本部、毎年恒例行事の「日本の建国を祝う会」が盛大に開催されました。今年はフリージャーナリストの笹幸恵さんに「悠久の日本を守った戦士達を想う」と題して記念講演をして頂きました。笹さんはガダルカナル島をはじめとした日本軍玉砕の太平洋の島々を訪れて、慰霊巡拝と遺骨収集に取り組んでおられます。切欠は大東亜戦争について教

師から教わったことに疑問を持ったこと、「アーロン収容所・会田雄次著」に深い感銘を受けたことに始まるそうです。先の戦争でお亡くなりになられた戦没者の内、およそ百二十三万柱の遺骨が未だ送還されていません。さらに海外には補修されずに朽ちて放置された慰霊碑が多数残されています。戦地に兵士を送り出す時には盛大に見送っておきながら、事情が変わったからと兵士達の遺骨を南洋の島々に置き去りではすまされないはずです。笹さんは国がやらないならば、自分がやると熱い使命感を持って活動を始めたわけです。笹さんは小柄で可愛らしい方です。こんな上品な娘さんが密林のジャングルを行く姿がとても想像できないほどです。ところで、皆さんは「戦史検定」というものをご存知でしょうか。「戦史検定」とは祖国の真の歴史を知って頂くことと、その事業による収益金で海外に建立された慰霊碑、顕彰碑の保全と修復を行うことを目的として年一回開催される検定試験のことです。検定を行うのは戦史検定協会という団体で、東京に事務局があり小田村四郎氏、中條高德氏らが顧問に名を連ね、笹さんが実行委員長を務めています。本来は東京で試験が行われますが、団体に申し込めば地方に向いて頂き試験を受けることができます。

日本会議愛知県本部では今年の八月に名古屋開催に向けて計画を進めることになりました。初級試験は三千八百円の予定で、どなたでも受験できます。今後ご案内をしていきますので、是非挑戦してみてください。最後に一言、私も戦争物の書籍は興味を持って何冊かは読んだことがあります。先の大戦は何だったのか、私にとっても謎めいた深い課題だったからです。あの戦闘はこうすれば良かったとか、ここがいけなかったとか戦闘技術的な見方しかしてこなかったように思います。私の興味は、戦闘や国際政争にはあつたが、兵士達に思いを寄せることを怠っていたと思います。まずすべきことは、彼らに心を寄せること、英霊のお心に思いを馳せることだったと深い反省を覚えております。八月には戦史検定を受検したいと思います。また、笹先生にお目にかかれることを楽しみにしております。

(報告・名古屋支部 南部文宏)

第十四回 愛知竹田研究会

テーマ・「古事記千三百年祭の意義」

日時・三月十八日(日) 午後四時半開場・五時開会〜七時半閉会
会場・アパホテル名古屋錦 電話052-953-5111
会費・二千円(初参加者と学生は無料) 事前に申し込みが必要です
懇親会・四千五百円(希望者のみ、竹田恒泰先生と親しく懇談できます)

教育講演会 日本を救う奇跡の教育

講師 浅川正人先生 甲子園高校野球や花園高校ラグビーでミラクル旋風を巻き起こす日本航空高校石川の副校長が来名。

日時・五月二十日(日) 午後一時開場 一時半開会〜三時半閉会
開場・桜華会館 名古屋市中区三の丸一七二 護国神社西隣
主催・新教育者連盟名古屋支部 電話052-532-0902
会費・千円 事前申し込みをお願いします。

安倍晋三氏・青山繁春氏大講演会

日時・四月二日(月) 午後六時開場・六時半開会〜九時閉会
会場・中京大学文化市民会館・プルニエホール 前売千五百円

●愛知県護国神社清掃奉仕予定

三月四日午前八時開始、九時終了。四月一日、五月六日を予定しております。皆様もお気軽に参加下さいますようお願いいたします。現場責任者・南部(090-2773-0688)

●「日本の息吹」を引き続き「継続」させていただきますようお願いいたします。